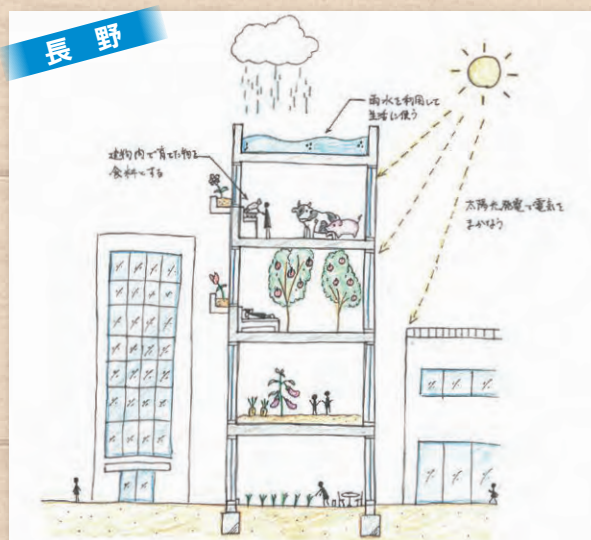


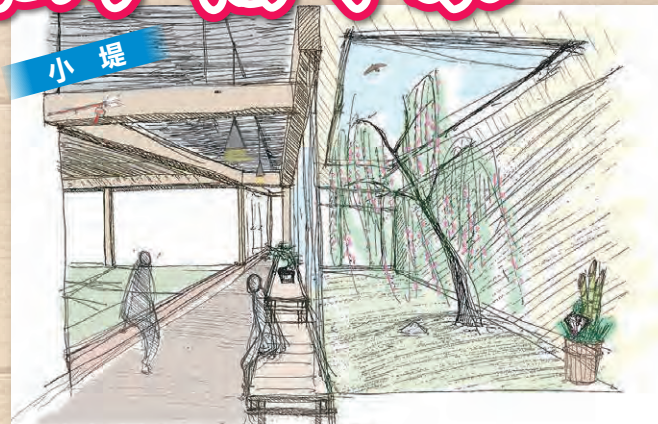
2019年初夢 私が描く家



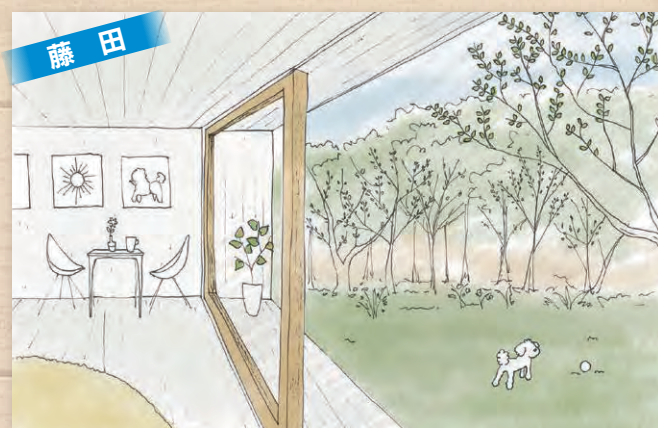
子供の頃、憧れていたSFの世界に出てくるキノコのような家…あれから50年たってその多くが現実となってきただけ、何か違う。いくつになっても夢を忘れずに追いかけていきたい。



僕が設計したい建物は、「都会で自給自足できる家」です。僕は都会が大好きですが、心は田舎者でございます(笑) 都会にいらながらも、どこか自然を感じながら生活したいと常日頃考えております。そこで！都会の狭小地にしながら室内で田畑を耕し、家畜を飼い、電気や水道も自然を利用してエコなライフスタイルができるような建物を設計したいです。こんな建物があれば都会の生活でも心に余裕が生まれるかも…



全ての部屋を土間が繋ぐ。部屋の前には自慢の盆栽を。坪庭はみんなで手入れをする。そんなシェアハウスはきっと楽しいかな。



愛犬がのびのび遊べる緑いっぱいの庭と外部を取り込む大きな開口、壁にはシュリグリーの絵、ドロップチェアに座ってお茶を飲む。

今回は建築家が描く理想のお家をご紹介させていただきました。皆さんの理想のお家と近いものはありましたでしょうか？

住宅建築はこれからも進化していくことでしょう。発想を換えることで家づくりはもっと楽しくなりますし、その可能性は無限大です。家は住む人の生活そのものです。皆さんも是非、想いを描いてみてください。「家を作る」が人生の一つの楽しみになればと思います。

A+デザインができる限り依頼主の想いを実現いたします。まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

【個別相談受付中】お問い合わせは 株式会社エイプラス・デザインまで



株式会社 エイプラス・デザイン
一級建築士事務所

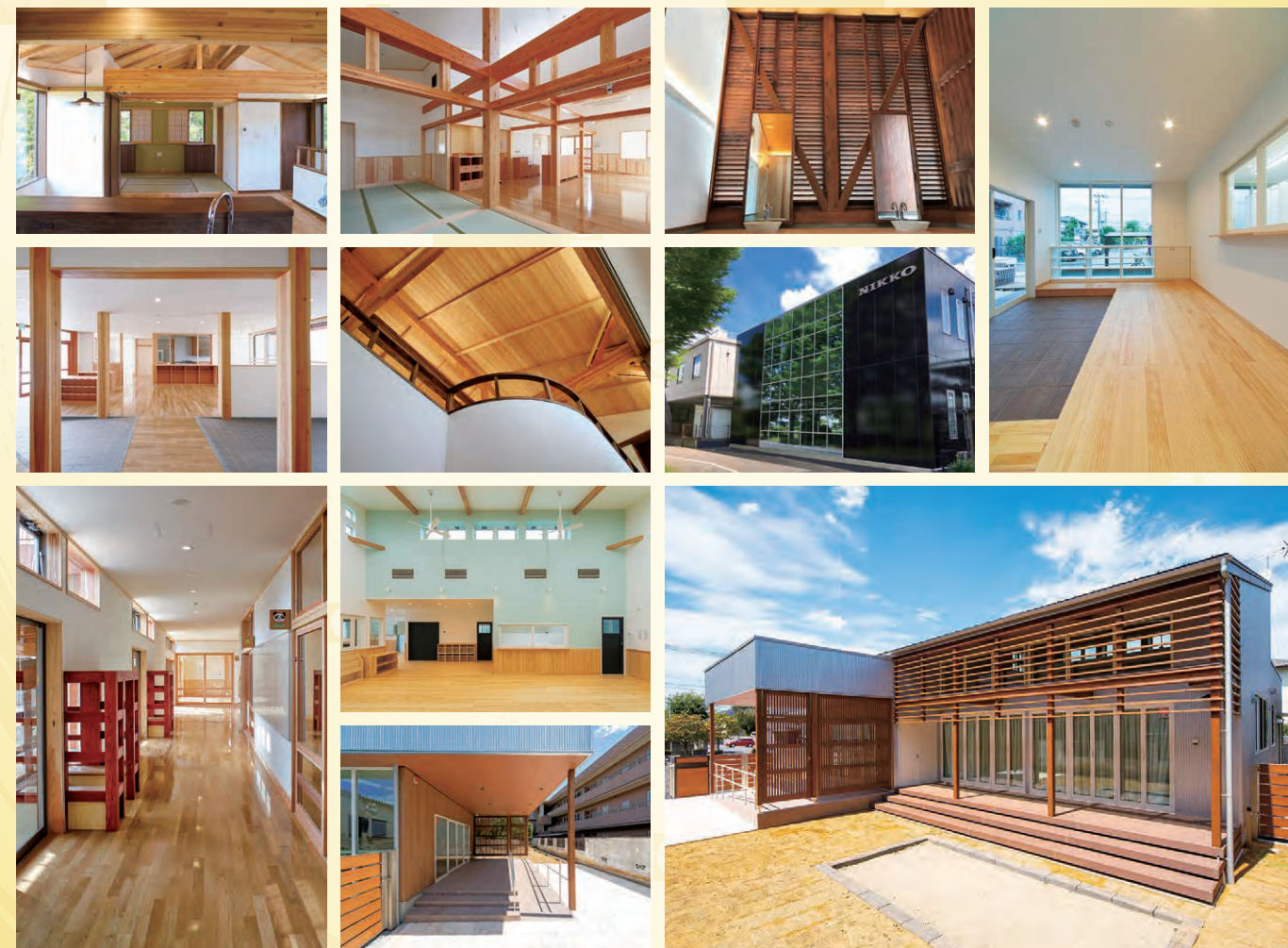
0120-65-6556

【水戸事務所】〒310-0021 茨城県水戸市南町1-3-23 カナザワビル3F
Tel.029-227-3361 Fax.029-302-2793
【東京事務所】〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-2-8
Tel.03-6661-7823 Fax.03-6661-7824
<http://www.aplus-design.jp/>



設計事務所からのお知らせです

2019
1
Vol.29



株式会社エイプラス・デザイン 一級建築士事務所

新年あけまして おめでとうございます

株式会社エイプラス・デザイン
代表取締役 佐藤 昌樹



皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、従来のエイプラス・デザインから新たなエイプラス・デザインへと進化する芽吹きの日であったように思います。

従前から取り組んでまいりました東京事務所がなんとか軌道に乗り始め、また同様にここ数年取り組んでいる海外企業との提携も深化して参り、昨年は中国、ベトナムで仕事をさせていただきました。本拠地茨城におきましても、皆様にご愛顧いただき、好調な業績を収めることができました。皆様のご厚情に深く御礼申し上げます。

さて、今年2019年は5月に新元号に切り替わる区切りの

年です。当社にとりまして、今年は新たなスタートを切る区切りの年と位置付けております。株式会社白水社と資本提携を行って3年目を迎えます。東京事務所開設をはじめとして、今まで様々な準備をしてまいりましたが、本年からいよいよ相乗効果を生み出すべく、新たなチームを編成し、新たな活動を本格化させたいと考えております。もちろん、これまでの事業も社員一丸となって進めてまいりますので、皆様の変なご愛顧をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様には変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

最近のわたくし。

建築家 佐藤 昌樹

思えば25年前、たいして考えもせず独立開業したときは、ただ漠然と偉くなるんだと思っていました。でもとてつもなく大きな東京というまちに圧倒されて、次第にここは自分の居場所じゃないと思っていました。

15年前に水戸に事務所を移した時は、ローカルアーキテクトだからこそできることがある、1か所に留まって水戸の街を少しずつ創っていこうと思っていました。まちづくり活動などにも積極的に参加し、設計の実績もそれなりに積みあがってきました。

そしてこの頃、せっかく水戸に戻ったはずなのに、あまり水

戸には居ません。皮肉なものです。水戸での活動が評価されて、なんだかあちこちからお声掛けいただくようになってしまいました。また、面白そうなことにすぐ首を突っ込みたがる性格も災いして、活動ジャンルも建築設計onlyだったものから少し周辺に広がってきています。

最近水戸にいないせいか、どこで何してるの?と聞かれることがよくあります。そういえばこの頃この事務所通信も作品紹介ばかりだったなあ…というわけで、この頃の私の活動について、3つの大きなテーマをご紹介しますと思います。

1.Borderless

ボーダーレス

呼ばれりゃどこでも行っちゃうよ~
WEB会議があるからどこにいてもへっちゃらさ!
スマホが翻訳してくれるし!

水戸に戻った時は活動範囲は「水戸と近隣市町村」、ちょっと前までは活動範囲が「茨城全域」だったのですが、この頃茨城では全然納まらなくなってきました。エイプラス・デザインが白水社グループの一員になったことも大きいのですが、それ以外にも基本にお声掛けいただくとホイホイとどこまでも行ってしまうせいか、ここ一年の間でも海外4回、国内はもう数えきれないくらい移動しています。スマホが本当に便利で、どこにいても大体毎朝WEB会議で朝礼参加できるし、遠方との会議も苦になりません。海外の場合は翻訳もしてくれます。どうせなら、移動せずに全部ITで処理できれば良いのだけれど、建築の場合は現場に行かないとどうにもならないことが多いので、致し方なしです。

もう一つのボーダレス化は仕事のジャンルです。最初はもち

ろん建築設計がメイン、というかほぼそれだけでしたが、そのうちにまちづくり活動に関わるようになり、都市計画や市民活動の方向にちょっと行ったかと思えば、知り合いの建築紛争に関わったことがきっかけで、建築紛争コンサルタントの肩書を持つようになりました。これはこれでだんだんと認知されてきていて、最近は弁護士会での講演を依頼されるまでになりました。我ながらビックリです。そして、最近では海外の仲良しさんたちと、なんか面白いことできないかな~というノリで、海外で3Dグラフィックや家具製作に取り組んだりしています。

なんだか節操ないようですが、一応自分的には、「建築家」っていう軸足は保った上で、その周辺に片足突っ込んでる感じ、と弁明しております。



今年一番の衝撃料理:
すっぱんバナナ紫蘇鍋(ハノイ)

どこでも行っちゃう!
ボーダーレスな活動軌跡。



中国の勢いは凄いなあ。こんなのがボンボンできる。
打合せしたねーちゃんはヴィトンのショール羽織ってた。金持ちだあ。(東莞)



2.Vernacular design

ヴァナキュラーデザイン

その場所に根差したデザインをするよ~
ついでにその美味しいものも開拓するよ~

前から建築はヴァナキュラー(土着的)なものだと言っはいたのですが、最近あっちこっち行くせいか、益々この思いを強めています。要するに、建築のデザインは突然どっから降ってくるものではなく、エラそうな建築家が押し付けるものでもなく、その場所の気候風土や文化、人々の生活に根差したものでなければならないという考え方です。こういって、古民家みたいな話を想像しがちなのですが、生活に根差すというのは当然現在の人々の生活を指すので、現代の生活に必須の家電、ITや車などすべて織り込みますから、古民家にはなりません。つまりその土地の歴史も日常もよく知る者こそが、そのデザインをするべきだと思っています。

その土地を知らなきゃいけないっていう話をしているんだから、仕事であちこち行っという話と矛盾してるんじゃない?と思われるかもしれませんが、国内のある程度の範囲(雪国とかは

ちょっと難しい)は少し勉強したり、話を聞いていくことで何とかなります。同じような気候に住む同じ民族ですからね。差異を理解することは比較的容易です。問題は海外で、これはちょっと無理と思っています。なので海外へは何をしに行っているかという、実は日本の高水準の技術を売って、現地の特徴を活かしたモノ・コトを買うという動きをしています。

とりあえず、その場所のことを知るには本を読んだり、博物館・資料館に行ったり、いろいろな人の話を聞いたりするのですが、私的にはなんといっても、食文化を知らねばなりません。その土地の文化を知る第一歩は、食文化を知ることだー!!という訳で、あっちこっち行っでは、いろんな美味しいものを食し、地酒を飲んで楽しんでおります。(結局それがしたいがための主張なんじゃないの?などと思っはいけません。)

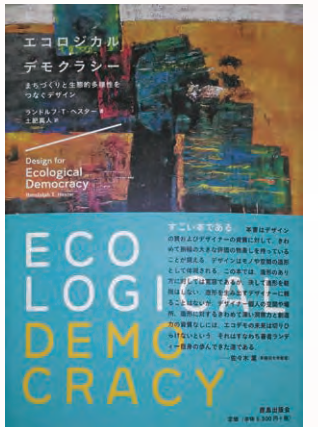
3.Ecological democracy

エコロジカル・デモクラシー

生態学的民主主義?何のこっちゃ?
実はまちづくりの話だよ~

これ直近でちょっとはまっています。直訳すると「生態学的民主主義」で何のことかわからないですよ。実はまちづくりの話です。2006年にアメリカで本が出版されて、今年日本語訳が出版されました。デモクラシーの部分は、なんとなく住民参加型とか、みんなで話しあって決めるとか、想像つきやすいですよ。エコロジカルな部分は、地球環境にやさしいみたいなことを思いつきがちですが、ここで言っているのは、自然環境と人との関係だけでなく、社会環境と人との関係、人々との相互関係を含むもので、要するに、あなたとあなたを取り巻くすべての環境との関係ってことです。詳細はまだ勉強中なんですけど、何故これにはまっているかというと、今までまちづくり活動に色々参加してきたんだけど、どうしてもキーワードが「活性化」ってことになっちゃう。もちろん鎮静化よりも活性化なんだけど、経済さえよくなればみんなの暮らしは良くなるんだろうか?思えば昔私がバブルの東京に住んでいた時、その

生活環境にはとても不満を感じていたのを思い出すと、経済一辺倒のまちづくりはどうなのよ?と思っはいます。イベントで人を集めるのもいいけど、日常的に住みよい、気持ちいいまちじゃないと人口増えないんじゃない?思っはいたら、この話に出会いました。この本を日本に紹介した東工大の土肥先生の話聞く機会があって、こりゃ凄い!と思っ、大学を訪ねて、一緒に水戸のことやろうぜー(ってまたすぐこういう軽いノリで動く...)で言ったら、なんか先生も乗ってきたのでやっちゃんいますw



エコデモの本。分厚い。
読み始めると、どうしても眠くなる~

APLUS DESIGN

業 務 完 了 物 件

- 東北自動車道佐野SA(上下線)基本計画策定支援
- 水戸商業高校駐輪場新築工事監理
- 十王中学校屋内運動場改築事業 耐力度調査
- S様邸改修工事(設計)
- 介護老人保健施設 涼風苑 改修工事監理
- 水木交流センター放射線防護対策事業設計

- 総和庁舎旧館解体工事設計
- 市営納骨堂・合葬墓整備基本・実施設計
- N様邸改築工事(設計)
- E様邸改築工事(設計)
- 日立アプライアンス(株)多賀家電本部工場耐震補強設計
- 池田病院定期報告(平成30年)
- 栗田病院定期報告(平成30年)

現在進行中の業務

- 警視庁城東警察署改修設計
- 栗田病院水戸駅前クリニック新築設計
- 中根小学校給食室増築工事設計
- 緑桜学園空調設備設置工事実施設計
- 白鳥学園空調設備設置工事実施設計
- 水戸市立上大野小学校長寿命化改良実施設計
- 教育支援センター耐震補強及び改修工事基本実施設計
- つくばワイナリー新築設計
- 総合福祉センター空調設備改修工事実施設計

- 水戸市立見川小学校増改築実施設計
- T様邸新築工事(基本設計・監修)
- 浅草橋簡易宿所改修工事設計
- 東北自動車道都賀西方PA(下り線)建替え工事設計・監理